

学校目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい 蒔田っ子」
横浜市立蒔田小学校だより

平成28年度

10月号

平成28年9月29日



まいた

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/>

校長 保科 泉

学校の草むらからも、夕方かすかな虫の
声が聞こえるようになり、けたたましい蟬
の音が降ってきた七八月が嘘のよう
です。夏休みの作品展は、どれも長
期休みならではの秀作ぞろいで、と
ても感心させられました。

九月一日の総合防災訓練引き取り
訓練へのご協力いただきありがとうございます
ございました。本校では赤十字社の
テキストを基にした防災教育を昨年
度から継続して行っています。本年
度は風水害を取り上げて
て授業を行いました。

台風や豪雨による災害
時に必要な知識などに
ついて学年に応じた内
容で学習しました。ご
家庭でも話題にして頂
けましたでしょうか。

九月十六、十七日に
自然と歴史を体感し、
自分たちの学び培って
きた力を発揮する日光修学旅行に行っ
てきました。

「この木の幹、包帯巻いてるみたい。」
これは、戦場ヶ原から湯滝へのハイキン



迫力の華厳の滝



男体山の全貌が見えた！

グ中、ネイチャーガイドさんの白樺についての説明を聞いた後、その幹
に触れながらふっと出たつばやき。
「これ、本物？」

根元にまだ毛のついてる本物の鹿の角をガ
イドさんから手渡された時のこの質問は「そう
だよ。」の答えの後も何回も発せられ、ガイド
さんも苦笑い。その「本物」の手触り、重さ、
大きさのインパクトは十分だったようです。

自然に文字通り触れることの少ない蒔田っ子
に「リアルな驚き」を体験させてくれた日光の
自然の力は、やはり偉大です。

パラリンピック閉会式の東京引き継ぎ式後の
パフォーマンスは、オリンピック以上に衝撃的
で素晴らしいかったですね。特に義足ダンサーの
大前光市さんのパフォーマンス！左足切断の障害を個性として
活かし、自分にしかできないダンスを追求してきたそうです。
その身体的精神的鍛錬は、想像を絶するものでしょう。

『障害を持つということは、別の可能性を持つということなん
だ。今の自分がすでに持っている才能を形にするということなん
だ。努力すればその可能性が少しずつ形になっていく。それ
を大切にして磨いていけば、武器にも宝物にもなる。』とご自
身のブログに記されています。LED付き義足の切れのある動き。
四連続バック転等々。自分の力を信じ、目標をもち、それを目

指して努力し自分を表現する。このことは、障害の有無、男女、年令、
人種等々の条件を超越した、誰でもが持てる永遠のテーマであるとい
うことを改めて認識させられました。そのことを嘯みしめながら、個別級
南区合同宿泊学習に行ってきます。